VOICE

読者のページ

2024年3月号（52巻3号）へ寄せられた
読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介します．

特集

臨床医は一般検査に何を求めているのか

◉尿沈渣一つからも，細胞を読み解き，診断に結びつけられるなど，尿から知りうる情報は計り知れないと認識しました．一般検査は診断の入り口として非常に重要な役割を担うと実感します．　こいたろう（高知県）

◉腎臓内科，泌尿器科の記事が特に参考になりました．赤血球は量に気を取られがちでしたが，もっと変形赤血球に意識を向けて検査します．　HH（兵庫県）

◉尿検査だけでなく，関節液検査や髄液検査も含め，医師から一般検査に何を求められているかを知ることができて，とても勉強になりました．　たん（北海道）

MT Seminar

時間経過が生化学検査に与える影響

◉血ガスやアンモニアはもちろんですが，その他の生化学の項目も時間経過によって変動することを学べました．今後気をつけていきたいです．　RO（福岡県）

◉病棟で採血された検体が忘れられ，提出までに時間がかかるケースがあり，あらためて全血放置によるデータの影響を知れたのは有意義でした．　KN（大阪府）

◉病棟患者は早朝に採血されるため，検体採取から検査室での遠心分離まで2時間近く要することがままあります．今回，多くの項目で時系列変化のグラフがわかりやすく記載されており，とても参考になりました．今後に活かしていきます．　さんきち（山口県）

基礎講座

糞便が混入した尿検体に遭遇したらどう対応しますか？

◉糞便成分の形態がとてもわかりやすくまとめられており，尿中の糞便混入を察知し，いち早く臨床に報告することの重要性を学べました．おむつ着用者の自然尿で糞便混入の経験があり，患者の採尿状態を確認することも大切だとあらためて認識しました．
さんきち（山口県）

◉自院は高齢者施設で，尿に糞便が混入しているケースが少なくありません．主治医への報告例のコメントが端的でわかりやすく，早速取り入れることにしました．　HH（兵庫県）

技術講座

封入を学ぶ

◉普段から行う業務ですが，なかなか聞けないことをわかりやすく説明してあり，とても勉強になりました．
トウカイ（岐阜県）

◉病理に不慣れな検査技師が封入すると気泡はつきものです．毛細管現象を利用した封入方法は知らなかったので，伝えてみようと思います．
コウベノサウナー（兵庫県）

◉封入機の普及により，手で封入する機会がとても減っている現代において，手封入の方法などを後世に伝えるために，とても良い教材になると思いました．
KS（愛知県）

ご意見・ご感想は巻末の「**ホットラインカード**」，**または web アンケート**にてお寄せ下さい．ご投稿をお待ちしています！

2026/09/12 16:00:20